

Hello! FUJISEI

No.98

親の介護、自分たちの介護

大丈夫ですか？その時のための資金準備

「遺産をどうしますか？」と尋ねられると、「いや、私には遺産なんてないから」と答える方がほとんどかもしれません。遺産というと、大資産家の残すものというイメージがあるかもしれませんが、今住んでいる家や土地が自己所有のものであれば、立派な遺産です。

その遺産をどうするのか？ 自分たちが生きていううちにすべて使い切ってしまうという考え方もあります。しかし、それではいつまでに使い切るのかということ、あらかじめ予定を立てることは難しいのです。

遺産はこどもに残してやりたいという方も多いでしょうが、高齢社会の到来により『介護問題』がクローズアップされている現代社会では、そのために「老後の世話をすること」や「家業を継ぐこと」といったことが条件となることもあります。

金融広報中央委員会の「2011年 家計の金融行動に関する世論調査」では、約7割の世帯が

こどもに残してやりたいとしていません。その内訳は、4割強の世帯が「老後の世話をしてくれるか、家業を継ぐか等に関わらずこどもに財産を残してやりたい」でした。ただし、「老後の世話をしてくれるならば、こどもに財産を残してやりたい」という世帯も約2割あります。

まだ元気で生活しているからといって、介護のことを考えないようにしている人がほとんどですが、介護問題は急にやってきます。「親の介護」、そして「自分たちの介護」、介護は家族、身内を巻き込んでいく大きな問題です。

これからは、介護別居や介護離婚

が増えてくるとも言われています。

ある友人は、高齢の両親が田舎で二人だけで暮らしていました。共に元気なうちは良かったのですが、母親が認知症となり、その介護のため50歳で早期退職しました。普段は両親と一緒に暮らし、週末だけマンションで夫婦が揃うという別居生活となりました。それから、もう10年が経ちましたが、ご両親はまだ健在で、お父さんは100歳間近とのことです。

こんなケースも他人事ではありません。介護は人生最後の大事な仕事です。そのときのために、勉強し、そのための資金準備をすることも必要となります。

遺産をどうするか？

金融広報中央委員会「2011年 家計の金融行動に関する世論調査」(2人以上世帯調査)

